

# 精神科病院の地域連携の取り組み

## 認知症高齢者の推計人数

2030年 約**744**万

2050年 約**797**万

(2014年厚生科研)

## 認知症疾患医療センター

施設数 **499**

地域型 **382** (全体の76.6%)

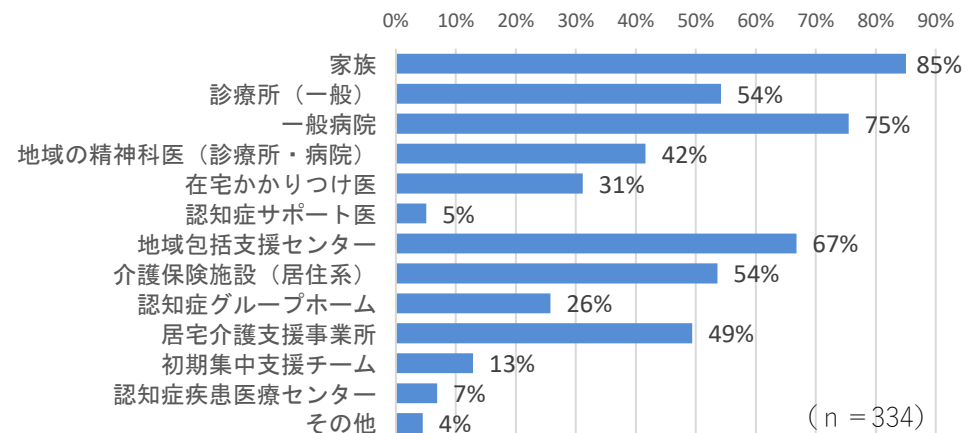
精神科関連のセンター **243** (全体の48.6%)

(2022年10月現在)

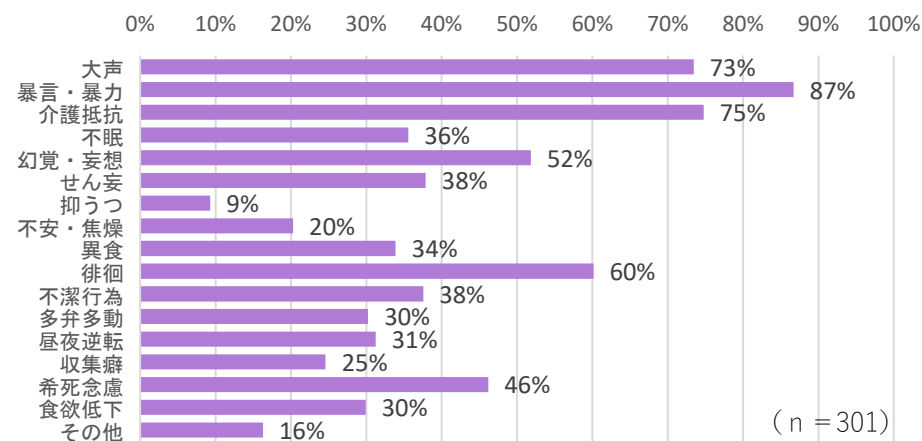
精神疾患を有する**外来患者数** 認知症 **92.2**万人

精神疾患を有する**入院患者数** 認知症 **7.6**万人

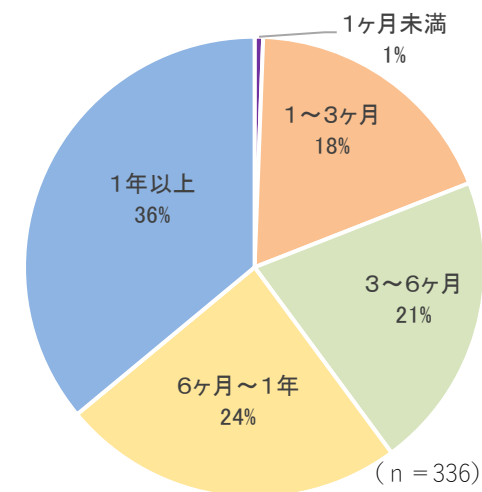
(2020年 厚生労働省患者調査)



A 紹介元として多いところ



C 受け入れを拒まれる理由



B 認知症患者の平均入院期間

A～C (2022年日精協アンケート調査)

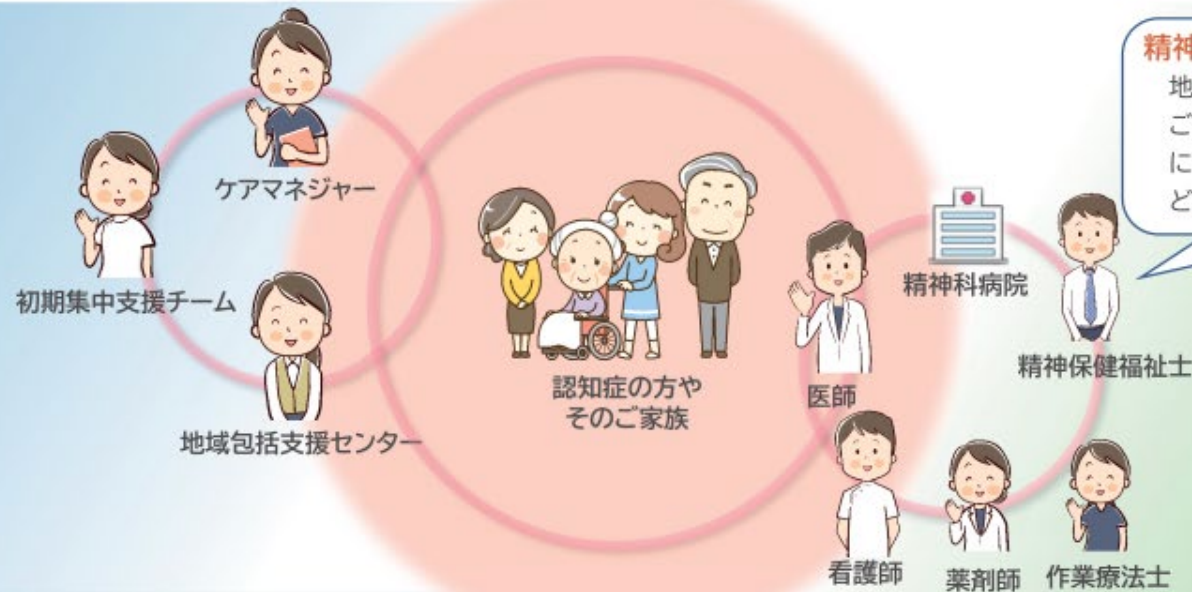
# 認知症の方の様々なニーズにお応えします

## 通院治療を通じて在宅生活を支援します

◎外来(通院)での認知症治療を通じて、認知症の方の在宅や施設における日常生活を支援しています。

### 【在宅で受けられる主な医療サービス】

- ①認知症デイケア:利用目的に応じた専門的なプログラムがあり、在宅で規則正しい生活を続けながら、認知症の進行予防が期待できます。
- ②精神科訪問看護:通院治療が困難な方のための訪問サービスです。経験豊富な看護師や精神保健福祉士等の専門職がご自宅を訪問し、相談支援、健康管理、病状確認、生活指導、服薬指導など行います。



### 【連携のメリット】

- ①地域の医療・介護施設、事業者と精神科病院が連携することで、在宅で生活されている認知症の方への多面的なサポートが可能になります。
- ②退院患者さまへのカンファレンスに、精神科病院からの継続的な関わりが得られることで、もしも認知症が進行してもスムーズな治療が受けられます。

## 仮に入院したとしても、退院後の地域での生活を支援します

◎入院中より地域の社会資源と連携しながら、早期の退院に向けた支援、地域で安心して暮らせる生活支援を継続的に行っています。